

記者資料提供（令和2年12月4日）
危機管理室 末若・佐藤
TEL：078-322-6487（内線902-9713）

新時代の共助を気軽に体感 「共助DXカフェ」1月17日に1日開店！

1. 概要

阪神・淡路大震災から26年目にあたる令和3年1月17日、市民の皆さんがホストにもなり、ゲストにもなる、全く新しいタイプのイベントを実施します。

市民が所有するEV（電気自動車）を、市役所4号館前にライドインしていただき、その電気を使ってコーヒーを淹れ、追悼行事等で行きかう市民の皆さんにご提供する、その名も「共助DXカフェ」。新しい時代の共助の実証訓練も兼ねたイベントです。

会場では、AI防災協議会によるLINEを活用した情報共有訓練のモニターデモンストレーションや、「ANCHER KOBE」課題解決プログラムの紹介、P2P互助プラットフォームを活用したEV等の物資シェアの可能性など、ICT技術等による共助活性化の取り組みもご紹介。

1日店長には、ヴィッセル神戸の元選手でゼネラルマネージャーを務め、現在はサッカー指導者等でご活躍されている三浦泰年さんが駆けつける予定です！

ぜひお気軽にコーヒーを飲みにお立ち寄り下さい！



1日店長 三浦泰年さん

1965年7月15日生まれ。

1980年代から、日本リーグおよびJリーグで主力プレーヤーとして活躍。実弟・三浦知良（カズ）選手と共に兄弟で日本サッカー界の人気を支えてきた。2002年に選手としてヴィッセル神戸に移籍し、2004年からは同チーム統括本部長（GM）として活躍。神戸のサッカー発展に大きな貢献をされた。

「共助DX」とは

南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対応するためには、公助だけでは限界があり、自助・共助領域の対処力の強化が急務です。

公助領域は、ICT技術等の活用について、官民で盛んに推進されています。

一方で、共助領域においても、ICT技術等の活用は大きな可能性を秘めているにも関わらず、大きなトレンドになっているとまでは言えません。

そこで、阪神・淡路大震災を経験し、共助の大切さを実体験として知る神戸市から、ICT技術等の活用による共助領域の変革「共助DX」をテーマに、様々な提案を行っていきます。



2. 日時等

- 日 時： 令和3年1月17日（日） 11:00～15:00 （予定）
場 所： 神戸市役所4号館前 入口付近
実 施： 神戸市、AI 防災協議会、日産自動車株式会社、ネスレ日本株式会社、
Frich 株式会社、株式会社神戸酒心館 ほか

3. EVで電源協力をいただける方募集（12月20日まで受け付け）

（1）お願いすること

- ・ 皆さんのEVで、指定の時間帯に会場までお越しいただき、指定場所に駐車いただきます。フル充電の状態でお越しくださいますようお願いいたします。
- ・ 給電作業やコーヒーサーバーなどは、会場スタッフが行います。（皆さんは、ご自身のEVの運転をしていただければ結構です）
- ・ 参加時間は、10分～30分程度です。
- ・ 協力された方には、ネスレのコーヒーマシン「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ（※）」をプレゼントします！
※コーヒーマシンは、リユース品（本イベントでのみ使用）になる可能性もあります。

（2）参加方法

アドレス「kikikanri@office.city.kobe.lg.jp」に、下記の内容をメールしてください。

- ・ 件名は「EV イベント参加希望」として下さい
- ・ 以下の内容をメールに記載して下さい。（①氏名 ②携帯番号（当日連絡がつく番号）
③EV車種 ④参加可能な時間帯 ⑤氏名・顔写真を出していいか）

【注意事項】

- ・ 抽選になります。おって、抽選結果、当選の場合は指定時間帯等をお知らせします。
- ・ 飛び入り参加は厳禁です。